

かんなんキッズニュース

「11ぴきのねこ」ごっこ

ずっと遊んできているねこごっこ。毎日ねこになって遊びたくて仕方がないようで「今日はいつねこやる?」と言っています。お部屋に、とらねこたいじょうのパペットがあるのですが、パペットと一緒にねこごっこをして遊んできたので、愛着があるようで「たいしょう!早く起きて!お魚取りに行こう!」とパペットに話しかける姿が見られます。

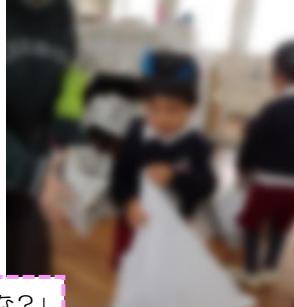
お話を理解して、「今日は泳いで魚を捕りに行こう」「今度は釣りで魚を捕ろう」など、毎日子どもたちが柔軟に考え、思いついた遊びを楽しんできました。友達がねこになりきる姿を見て真似たり、友達の気付きに心を動かしたり、4歳児らしい『友達と一緒に遊ぶって楽しいな』という気持ちでねこごっこをしています。お話を合わせて必要な道具について考え、おなかいっぱいに見えるようにする方法や、船に乗っているように見える方法など、全部もも組の子どもたちがクラスで相談し合って決めました。ぜひ劇でどのような表現になったかをご覧ください。



↑始めは船のオールをつくって遊んでいましたが、考えを出し合って、船をつくりました!↓



「お腹いっぱいに見えるかな?」



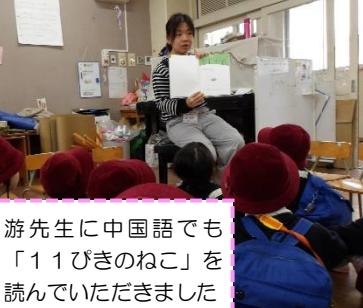
「お腹いっぱい!」



「特訓するにゃご~!」



「お魚の体をつくろう」



游先生に中国語でも
「11ぴきのねこ」を
読んでいただきました



楽器遊び

どの楽器にも触れて日々遊んでいます。始めのうちは曲に合わせて一人一人が思い思いに楽器を鳴らして遊んでいました。一度、演奏を録音して皆で聞いたときに「ピアノだけ(前奏)のところは鳴らさんほうがいい」「いっぱい音が聞こえるから、カスタネットやったらカスタネット、次はウッドブロックって感じで順番に鳴らしたほうがいい」と、どんなふうに演奏していくかを客観的に考えていく姿が見られました。そこから、楽器ごとに演奏することにし、それぞれの楽器のリズムについても相談し合って子どもたちが考えたりズムで演奏を楽しんでいます。もも組らしいリズムになっていると思います。

劇も合奏も、自分の意見を言って、友達もその意見を聞いて、認めたり、更にそこから新たな提案が生まれたり、担任の言葉添えや橋渡しもまだ必要ではあります、少しずつ、自分たちの力でつくり上げていけるお兄さんお姉さんになってきつつあります。頼もししいですね。どうぞ発表会を楽しみにしていてくださいね。



「いい音だね~」

